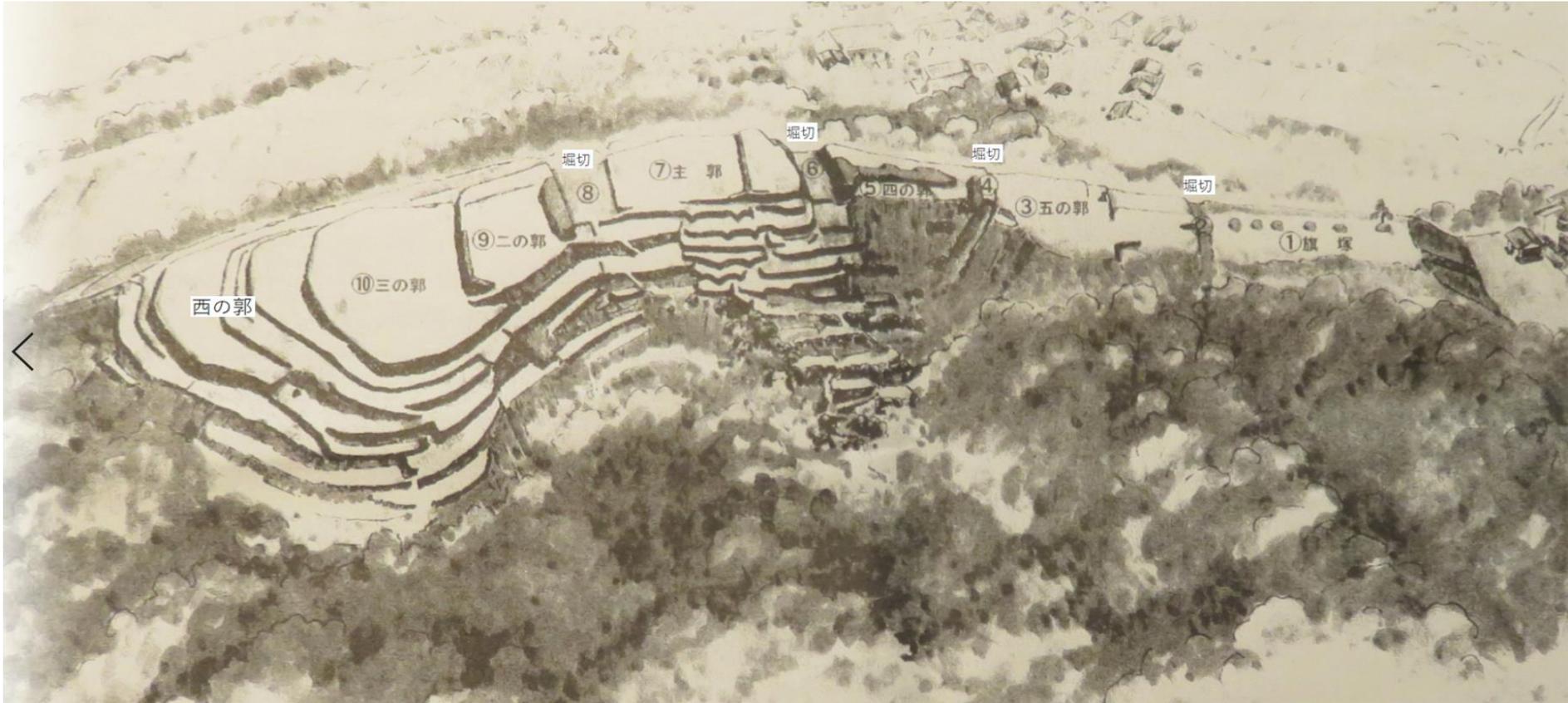


富士見城跡（小諸市）

築城年代：不明、築城者：不明

別名：大室城

縄張鳥観図/南側から見たところ/築城年代、築城者とも不明だが、武田氏が小諸城の前身である鍋蓋城を拠点とした時期に、その支城として整備されたと云う説など諸説あるらしい/南の麓から城跡の南下まで登り、城跡を時計回りに回り込んで、北側からまず二の郭へと進もう



南の麓から、富士見城跡の展開する飯綱山を見たところ/北西から南東に伸びた峰の北西端付近に築かれている

[video](#)



木々が開けた辺りに、二の郭に建つ展望台が見える/城跡は飯綱山公園として整備されている/五の郭・旗塚のエリアの東側には、小諸高原美術館が建っている



さて、急激な幾段もの石段を登って行くと、分かれ道があった/更に石段を登って行くと、小諸高原美術館に出るようだ

[video](#)



ここを左手の「歴史の広場」方向に進む



南側の斜面を進む



途中、随所に石積のような部分があった

 [video](#)



前方上に、南の麓から見た木々が開けたエリアが見えてくる



このレベルが城跡の斜面下ということのようだ/石積が散在している

[video](#)



ここを左手に城跡を時計回りに回り込んで進む/左下は絶壁だ/石積は何段にもなっているのが見て取れる/右上に二の郭に建つ展望台が見える



右手を見上げたところ/この上部は主郭のエリアのようだ

[video](#)



上部の石積をアップで見たところ/このように多段に組まれた石積群が、ほぼ全ての郭で築かれているのが、この城の最大の特徴となっている



少し進んで見上げたところ/この上部は二の郭辺りか・・・



更に少し進んで見上げたところ/この上部も二の郭辺りか・・・

 [video](#)



アップで見たところ



この上部は三の郭のエリアのようだ

 [video](#)



アップで見たところ



こちらは城跡を西側に回り込んだ所で、この辺りは西の郭と呼ばれるエリア/前方は三の郭の石積で、その上部が三の郭

[video](#)



さて、城跡を北側に回り込んで進む/前方は浅間山方向らしいが・・・



右手を見ると、三の郭の石積みが残っている

[video](#)



東方向に進み、ここを右手に上ると二の郭



右手を見たところで、前方に二の郭にある藤棚が見える



右手が二の郭、左手は主郭（左手）との間の堀切



こちらが二の郭/藤棚が見える



こちらは二の郭（右手）と主郭（左手）との間の堀切部分/かなり埋まっております、その姿は良くとらえられない

[video](#)



二の郭には藤棚の他に、麓からも見える展望台が建っている

[video](#)



その左手を見ると説明板があり、左端は土塁のようだ



これが説明板/「関東の富士見百景」とある



関東の富士見百景

No. 126 飯綱山公園 歴史の広場(富士見城跡)



関東の富士見百景128景 (233地点)

No. 126 飯綱山公園

◆飯綱山公園歴史の広場(富士見城跡)は戦国時代の山城跡で小諸藩支城としてつくられたものと考えられ、富士山を眺望できることから富士見城の名がつけられたと言われています。

◆この飯綱山公園は大変眺めが良く、浅間山や千曲川・小諸市街地が眺望することができます。遠くには八ヶ岳連峰や蓼科山・北アルプスまで見ることができます。

長野県 小諸市



富士山の見えるまちづくり

- ◆「関東の富士見百景」は、富士山への良好な眺望を得られる地点を選定し周辺の景観の保全や活用への支援を通じて、美しい地域づくりの推進を目的として実施しました。
- ◆選定された地点については、美しい景観の啓蒙、眺望景観の保全やまちづくり活用を促進するため、広報、交流会の開催、補助制度活用のアドバイス、モデルプランの提案などのフォローアップを行います。
- ◆今回の取り組みをきっかけに、選定地点の自主的な活動が促進され、地域コミュニティの活性化、地域ブランドの発掘や育成等の恒常的な効果につなげ、最終的には富士見景観を活かした個性と魅力ある美しい地域づくりの実現を目指していきます。

関東の富士見百景

富士山の見えるまちづくり

飯綱山公園
歴史の広場(富士見城跡)

平成17年11月

国土交通省関東地方整備局
青雫(社)関東建設弘済会

南側を見たところで、左手の方角に富士山が見えるはずだが・・・



そこで、左手を見たところ/この方角に鍋蓋城跡（小諸城跡）が所在するようだ/真下の通路は、先程登って来た道



同じく、右手を見たところ



左後を振り返ると、土塁がある/石積が施されている/土塁の右手は主郭との間の堀切



その土塁を正面から（西側から）見たところ



同じく、右後ろを振り返ると、展望台と藤棚/左端が三の郭への虎口



これは三の郭で、二の郭方向（東方向）を見たところ/二の郭の石塁が見える/手前には礎石のような石が残っている

 [video](#)



そこで振り返って、西方向を見たところ/足元に三の郭の石積が見える/この先には西の郭と称される幾段もの段郭があった

[video](#)



三の郭から西の郭への虎口を下りて、三の郭の石積を見よう



右手が三の郭の石積

 [video](#)



正面から（西側から）見たところ/立派な石垣となっている

[video](#)



さて、二の郭から主郭との間の堀切へと進んでみよう/右手が主郭方向/左手は二の郭の土塁

 [video](#)



ここが堀切であったが、かなり埋まっていたのでその感じがつかめない/左手が二の郭の土塁/左手前に標識がある



「堀切4」と記された標識



右手から見たところ

 [video](#)



さて、こちらが主郭/西側から東方向に見たところ



振り返って、二の郭方向を見たところ/正面が二の郭の土塁で、その手前が堀切

 [video](#)



主郭を東方向に進む/前方で一段高くなっている



そこでもう一度、二の郭方向を振り返ったところ

 [video](#)



この一段高くなった所は、物見台的な役割の場所だったのか・・・



そこへ上がると、藤棚があり、前方には木橋が見える/東方向を見たところ

 [video](#)



そこで振り返って、二の郭方向を見たところ



これが木橋/堀切の上に架けられており、この先は東郭と総称されるエリアで、四の郭・五の郭・旗塚がある

 [video](#)



そこで、左手を見たところ



同じく、右手を見たところ

 [video](#)



木橋の上で、振り返って主郭方向を見たところ

 [video](#)



そこで、左手（南側）に堀切を見たところ



その右手を見たところ



同じく、左手を見たところ



これは右手（北側）の堀切を見たところ



その北側から木橋と堀切を見たところ

 [video](#)



木橋を渡る/この先は東郭と総称されるエリアで、四の郭・五の郭・旗塚がある



振り返って、木橋を見たところ

 [video](#)



ここから先が四の郭のエリア/両サイドには土塁が続いている



このエリアが四の郭/この先に堀切があったようだ



このエリアは五の郭/この先にも堀切があったようだ



途中、こんな石造物が立っていた



この先は旗塚のエリア



右下に下って行くルートがあった



ここが旗塚



標識がある

 [video](#)





振り返って、今来た方向（西方向）を見たところ



その更に東側を見ると、小諸高原美術館が建っている/このエリアも城の一部だったのかもしれない

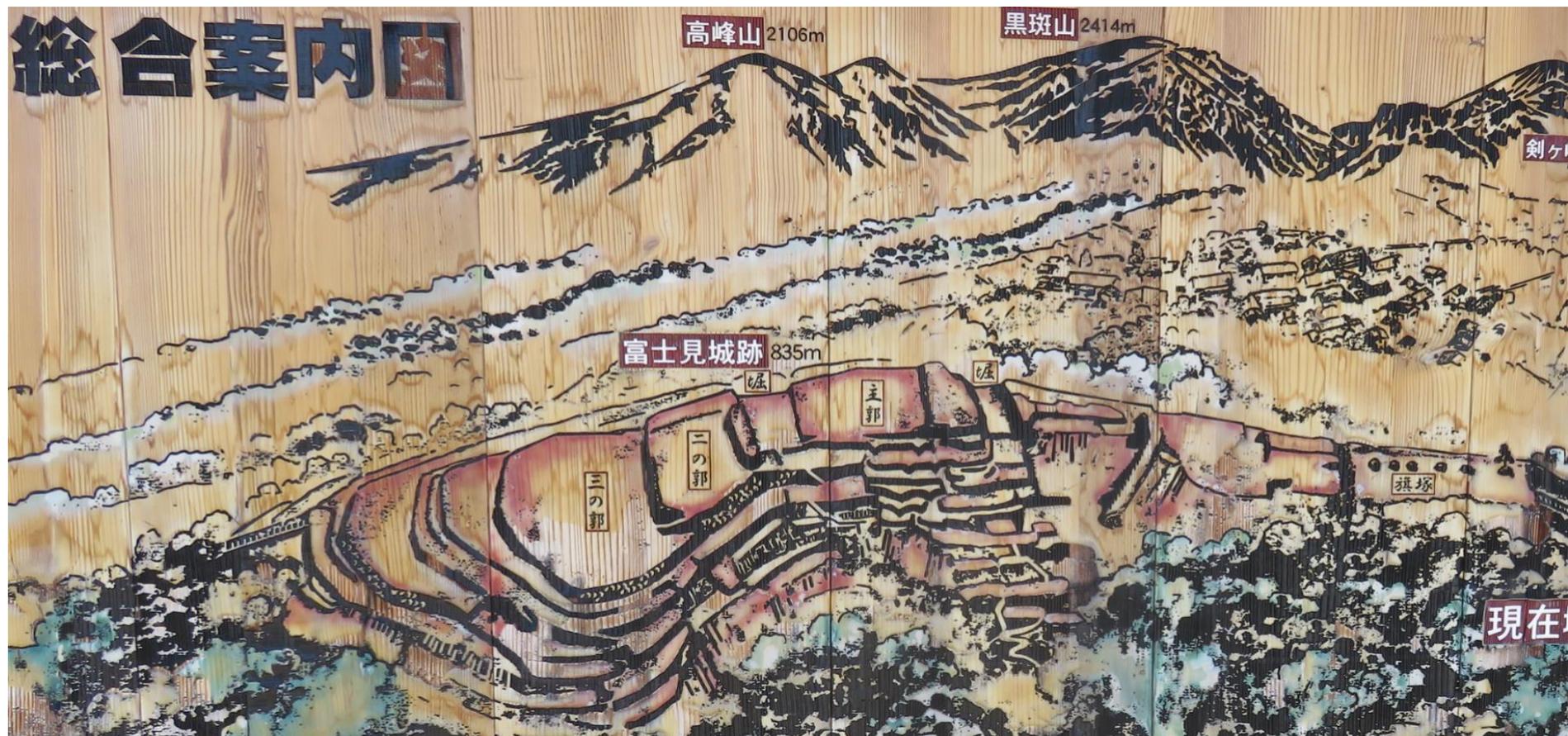


小諸高原美術館の辺りから西方向に城跡を見たところ/説明板が立っているのが見える

[video](#)



アップで見たところ



参考ホームページ

<http://yogokun.my.coocan.jp/nagano/komoroosi.htm#hujimi>

<https://www.hb.pei.jp/shiro/shinano/fujimi-iyo/>

<http://ranmaru99.blog83.fc2.com/blog-entry-28.html>

http://kojou.sakura.ne.jp/2009/05/post_72.html

<https://sirotabi.com/3078/>

<https://blog.goo.ne.jp/mugiide/e/62d978d930e532f03c2115caf3eb0508>

<https://www.asahi-net.or.jp/~qb2t-nkns/fujimi.htm>

<https://castlejp.web.fc2.com/02-kantoukoushinetsu/59-fujimi/fujimi.html>

http://blog.livedoor.jp/suijin_10/archives/28285387.html

